



妙高高原中学校

所在地 妙高市大字関川762番地

電話 86-2074 FAX 86-2482

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/kogen-c/>



1 学校の概要

- (1) 創立 昭和23年4月1日
- (2) 教職員 校長 重野 準司 教頭 渡邊 進
教諭7名 養護助教諭1名 主任1名
ALT1名 用務員1名 教育補助員1名
特別支援教育支援員1名 調理員3名

(3) 学級編成

学年	学級	男	女	合計
第1学年	1	14	4	18
第2学年	1	16	15	31
第3学年	1	15	16	31
特別支援	2	5	1	6
合計	5	50	36	86

2 学校経営の基本構想

- (1) 居場所のある学級づくり → 望ましい集団、人間関係づくり、生徒指導の3つの機能の日常化
- (2) 分かる授業づくり → 基礎基本の定着、思考を深める工夫、自主学習をする生徒に
- (3) 周囲からも認められる自己実現の場としての部活動 → 社会性の育成、困難を乗り越える力、体力の向上や健康保持増進への自覚
- (4) 特別支援教育の充実 → UDLの工夫、自己有用感の醸成、自己理解と周囲からの配慮
- (5) いつでもどこでも生徒指導 → 時を守り・場を清め・礼を正す、報告・連絡・相談・確認の徹底、いじめを見逃さない・許さない
- (6) キャリア教育の視点をもって指導 → 社会的な現実との接点の場を、学びを将来に結びつける

3 教育目標

『知性・敬愛・活力』

4 年度の重点目標及び努力事項

- (1) 重点目標
今ある目の前の課題に全力で取り組む生徒の育成
「凡事徹底」個性を伸ばし、社会に生き抜く力の育成
- (2) 努力事項
教育目標の具現化のために、次の資質・能力を身に付けさせる。
知性＝基礎・基本を基盤とした確かな学力と「善悪を判断する力」、「主体的に考え行動する力」
敬愛＝「互いの良さを認め合い、協力して物事に取り組む力」、「仲間や地域のために何ができるのか考え、実行する力」
活力＝「元気に学校生活を送る力」、「あきらめず

に最後までやり遂げる力」

5 研修計画

- (1) 研究主題
主体的に学習に取り組む生徒の育成
～自ら考え、学び合う授業を通して～
- (2) 主題設定の理由
自ら進んで課題を解決しようとする姿勢や自らの将来を展望する姿勢、積極的に人と関わろうとする言動など生徒の主体性を考えなければ、今年度の重点目標は達成できない。確かな学力を身に付けた生徒を育成するために、授業では基礎・基本の定着を図りつつ、思考を深める工夫が求められる。そこで、自ら考え、学び合う授業を通して、主体的に学習に取り組む生徒が育成できると考えた。
- (3) 研究内容
 - ① 授業研修
5月から11月の間に各自が研究主題に沿った授業実践を行う。その際、「主体的学習」の内容を明確にし、それを促すための方策を具体化する。その実践についてレポートを作成し、職員研修でグループ協議を行う。
 - ② 人権学習、同和学習の授業研修
各学年部で人権学習、同和学習の指導案を検討し、授業を公開する。その際、人権学習、同和学習における「学び合い」の内容を明確にし、それを促すための方策を具体化する。事象を他人事ではなく、自分事として捉えるために、自ら考え、判断し、表現する時間と機会を保障する。

6 主な行事の予定

- 4月：始業式、入学式、オープンスクール・PTA総会
部活動結団式
- 5月：避難訓練、生徒総会
- 6月：地区大会、歴史講座、定期テスト
- 7月：職場体験学習、期末面談、県総体、終業式
妙高登山
- 8月：始業式
- 9月：体育祭、定期テスト、避難訓練
- 10月：後期日程開始
- 11月：定期テスト、県駅伝、絆づくり集会
- 12月：生徒会役員選挙、生徒総会、期末面談、終業式
- 1月：始業式、確認テスト、3年進路面談、
定期テスト(3年)
- 2月：全国スキー大会、定期テスト(1・2年)
- 3月：同窓会入会式、卒業式、修学旅行、PTA総会
終業式